

# ドイツ・ロマン主義文学と「多文化共生」

ドイツ・ロマン主義とは、1800年前後に興った文芸運動です。今でも「ロマンチック」という言葉にその名を留めています。「ロマンチック」という言葉の通り、ロマン主義者たちは未知なるものへの憧れを謳いました。そのため、ロマン主義文学には、当時のヨーロッパにとって比較的未知であった文化圏(例えば 東洋など)のモチーフが好んで用いられました。今回は、ロマン主義文学における未知なる文化同士の出会いを取り上げ、「多文化共生」のありかたを考えたいと思います。

日時

2012年10月30日(火) 15:00~17:00

場所

宇都宮大学峰キャンパス生涯学習センターA講義室

(基盤教育C棟2階) \* 裏面参照

講師

たかはし ゆう

高橋 優 (宇都宮大学他非常勤講師)



ープロフィールー

1977年 東京都生まれ。

2002年 慶應義塾大学大学院独文学専攻修士課程修了。

2008年 ドイツ・トリア大学にて博士号(文学)取得。

2009年4月から2012年3月まで宇都宮大学国際学部講師。

現在は宇都宮大学他非常勤講師。専門はドイツ・ロマン主義の文学と思想。

**\*参加費無料：どなたでもご参加いただけます。(先着順)**

主催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター

協力：宇都宮大学生涯学習教育研究センター

問合せ：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター

電話/FAX：028-649-5228

E-mail：tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



# 宇都宮大学峰キャンパス内

